

# 平成29年度 学校自己評価システムシート（県立春日部高等学校 定時制課程）

目指す学校像	基礎学力を身に付け、人権尊重の精神を養い、一人ひとりの生徒が生き生きと共に学び合う学校
--------	---

重点目標	1 安心安全な環境の中で、基本的な生活習慣を身に付けさせ、規範意識と自己管理能力を育成する。 2 「わかる授業」を実践し、進路に応じた学力の向上を図る。 3 キャリア教育を実践し、進路希望を実現する。 4 学校・家庭・地域社会への情報発信を通じて、魅力ある学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	中学校時代から不登校など、多様な生徒が在籍している。落ち着いた学習環境の中で、生徒が社会に出て自立できるよう、挨拶を励行し、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自分の身は自分で守る安全意識育成も必要である。	・中途退学者数の減少	・教員間の情報共有、家庭との連携 ・SC,SSW との連携 ・外部諸機関との協力	・中途退学率は減少したか。 (H28 8.6%)			
		・出席率の向上	・登校時の声かけ指導 ・校内巡回指導 ・外部講師等による講演会の実施	・出席率は向上したか。 (H28 88.7%)			
2	きちんとした態度で授業を受けている生徒がほとんどであるが、さらに生徒の実態を踏まえた「わかる授業」を実践し、社会人として必要な基礎学力を育成することが必要である。	・授業理解度の向上	・教員相互の授業見学(年間2回以上) ・少人数・習熟度別・TTの実施 ・多文化共生推進事業の活用 ・学習サポーターによる授業支援	・生徒アンケートで、「授業がよく理解できる」が増加したか。 (H28 80%)			
3	生徒に適切で健全な勤労意識や職業観を養成し、進路実現に向け目的意識を培い、最終的には卒業後の進路決定率を向上させることが必要である。	・進路決定率の向上	・進路講演会等の実施 ・ソーシャルスキル講演会や生き方在り方教育などの実施 ・面接指導の充実 ・総合的な学習の時間の活用 ・進学補習の実施	・進路未決定者の割合は減少したか。 (H28 17%)			
4	「学び直し」「やり直し」の場としての本校の存在意義を説明し、よさをPRするとともに、HPをとおして最新の学校情報を提供することも必要である。	・中学校及び適応指導教室訪問の充実	・組織的な生徒募集及び本校PR ・行事実施後などのHP更新 ・学校説明会の工夫 ・学校見学者への丁寧な対応	・中学校及び適応指導教室訪問は充実させることができ、訪問した中学校と適応指導教室数は増加したか。 (H28 91校)			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			